

景 気 動 向 調 査

(第 176 回)

2015 年 1 月 ~ 3 月期実績

2015 年 4 月 ~ 6 月期予測

株式会社 北日本銀行

経 営 企 画 部

目 次

| | | |
|---------------|-------|----|
| 調査要領 | | 1 |
| 概 況 | | 2 |
| 1．県内景況感について | | 4 |
| 2．業況について | | |
| (1) 売上高または出荷高 | | 5 |
| (2) 仕入高または生産高 | | 6 |
| (3) 在 庫 | | 7 |
| (4) 収 益 | | 8 |
| (5) 販売価格・仕入価格 | | 9 |
| 3．設備投資の動向について | | |
| (1) 設備投資の実施状況 | | 10 |
| (2) 設備投資の目的 | | 11 |
| 4．資金繰り状況について | | |
| (1) 資金繰り状況 | | 12 |
| (2) 現金・預金 | | 13 |
| (3) 金融機関借入 | | 13 |
| (4) 販売代金回収期間 | | 14 |
| (5) 仕入代金決済期間 | | 14 |
| 5．経営上の問題点について | | 15 |

調 査 要 領

この報告は、岩手県内企業各社のご協力をもとに、下記の要領により景気動向の調査を行ったものです。

記

1. 実施時期 2015年3月下旬～2015年4月上旬
2. 調査対象期間 2015年 1月～3月期実績
 2015年 4月～6月期予測
3. 調査の方法 郵送による無記名のアンケート方式（年間4回）
4. 対象先 岩手県内企業 302社
5. 回答数 158通（回答率 52.32 %）
 <内訳> 製造業 49社 建設業 37社 卸・小売業 72社
6. 調査の主要項目 (1) 業況について
 (2) 設備投資の動向について
 (3) 資金繰りの状況について
 (4) 当面する経営上の問題点について

以 上

【本文用語説明】

「増加」～グラフ上の「増加」および「やや増加」

「減少」～グラフ上の「減少」および「やや減少」

DI（ディフュージョン・インデックス）～

「景気動向指数」のことで、各項目について「増加」（増加およびやや増加）と回答した企業の比率から「減少」（減少およびやや減少）と回答した企業の比率を減じた数値である。この値が「0」の場合は、「増加」と「減少」が等しいことを示し、プラスとなるほど「増加」が多く、マイナスになるほど「減少」が多いことを意味する。

(注) 「上昇・低下」「楽になった・苦しくなった」「長くなった・短くなった」の回答についても同様に読み替える。

ただし、「販売代金回収期間」については、「短くなった」-「長くなった」で算出している。

概 況

2015年1～3月期の岩手県内企業の景況感D Iは、全体で 31.0 と前期（2014年10月～12月期） 45.8 に比較し、14.8ポイント上向いた。2015年4～6月期は売上や収益面など全体的に上向き予想が目立ち、岩手県内の景気は回復に向かうと考えている経営者が多い結果となった。

D I（景気動向指数）推移

| 全業種ベース | 1～3月期実績 | 4～6月期見通し |
|---------|---------|----------|
| 景況感 | 31.0 | 15.4 |
| 売上高・出荷高 | 16.5 | 7.7 |
| 収益 | 10.9 | 0.0 |
| 販売価格 | 13.5 | 18.9 |
| 仕入価格 | 34.6 | 37.1 |
| 資金繰り | 5.1 | 2.6 |

全国的にみると2014年度の住宅着工戸数が前年比10.8%減少や個人消費支出の減少など消費税増税前需要の反動が残っている感がある。岩手県内でも被災地の住宅用地整備の遅れが目立ち、特に、卸・小売業の景況感が、昨年の消費税増税後の期より悪化（今回 55.5、2014年4月～6月期 47.4）していることから個人消費の回復が遅れていることが伺われる状況にあるが、増税後1年経過し、徐々に改善されていくことが期待される。

岩手県内有効求人倍率は全国平均を下回っているものの、1.11倍と安定した水準を保っており、建設業以外にも製造業でもやや人手不足感がみられる状況になっている。

地域創生が国策の大きな柱として動きだし、地方自治体・民間企業とも体制づくりや施策など本格的な動きが出てきており、今後は、高い水準が続く公共工事と住宅再建工事中心による復興加速と合わせた動向に注目したい。

< 参考 >

岩手県内企業「景況感D I」ワーストランキング

| | 調査回次 | 対象期間 | 景況感D I |
|---|-------|-----------|--------|
| 1 | 第153回 | 09年1～3月 | 92.7 |
| 2 | 第152回 | 08年10～12月 | 91.3 |
| 3 | 第124回 | 01年10～12月 | 91.2 |
| 4 | 第109回 | 98年1～3月 | 90.6 |
| 5 | 第111回 | 98年7～9月 | 90.0 |

（1971（昭和46）年以降）

1. 県内景況感について

全体のD Iは、31.0であった。

各業種別のD Iをみると、製造業が18.5、建設業が0.0、卸・小売業が55.5と前回調査時と比べて景況感は、製造業と卸・小売業は上向き、建設業は悪化した。

4～6月期見通しでは、製造業が12.5、建設業が5.6、卸・小売業は22.2と、建設業は悪化、製造業と卸・小売業は上向き予想となっている。

2. 業況について

(1) 売上高または出荷高

D Iは、全体では16.5であった。業種別では、製造業が8.2、建設業が0.0、卸・小売業が42.3である。

(2) 仕入高または生産高

製造業の生産高はD Iが2.0、卸・小売業の仕入高は40.0となっている。

(3) 在庫

製造業の製品在庫D Iは8.1、卸・小売業の商品在庫は25.7となっている。

(4) 収益

D Iは、全体では10.9となっている。業種別では、製造業が4.1、建設業が8.1、卸・小売業が31.0である。

(5) 販売価格・仕入価格

販売価格は13.5、仕入価格は34.6となっている。

3. 設備投資の動向について

全体で見ると、設備投資を「実施した」企業は34.2%となっている。

業種別では、製造業が27.7%、建設業が38.9%、卸・小売業が36.2%である。

設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり「生産・販売能力の増加」が2位、「省力化・合理化」が3位となっている。

4. 資金繰り状況について

D Iは、全体では5.1であった。業種別では、製造業が4.1、建設業が16.2、卸・小売業が22.8である。

5. 経営上の問題点について

全業種合計では、「売上・受注不振」、「原材料・仕入価格高」、「人手不足」が上位を占めている。

1. 県内景況感について

～ 実績・見通しとも製造業と卸・小売業は上向き、建設業は低下 ～

[1～3月期の実績] 県内の景況感（前年同期比）をみると、全業種では「良い」と答えた企業が14.6%（前期13.1%）、「悪い」が45.6%（同58.9%）で、DIは 31.0（同 45.8）と、前期に比べて14.8ポイント上向いた。

業種別の景況感（DI）をみると、製造業が 18.5（同 46.3）、建設業が0.0（同2.8）、卸・小売業が 55.5（同 67.1）となっており、製造業と卸・小売業は上向き、建設業は悪化した。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「良くなる」とみる企業が18.6%、「悪くなる」が34.0%であることから、DIは 15.4となり、1～3月期実績と比較して上向き見通しとなっている。

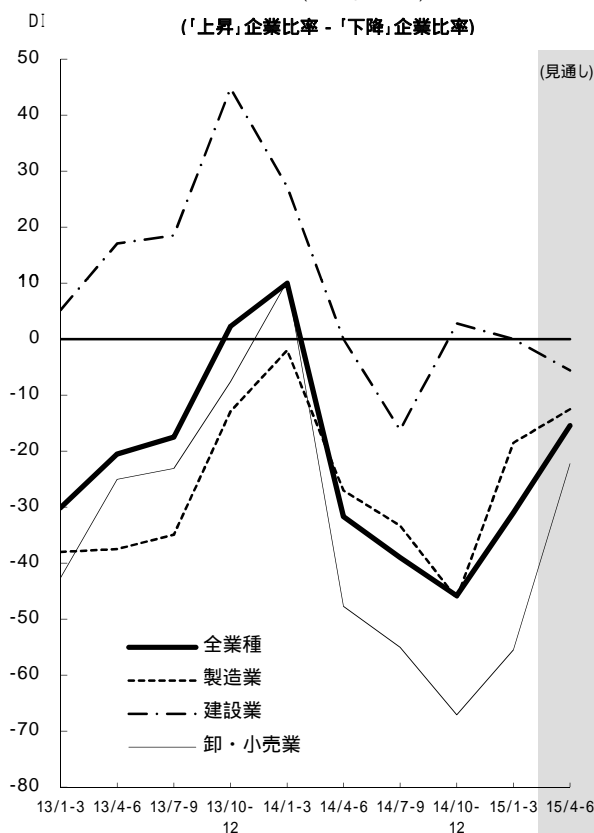
業種別にみると、製造業が 12.5、建設業が 5.6、卸・小売業が 22.2となっており、製造業と卸・小売業は上向き、建設業は悪化見通しである。

県内景況感(前年同期比)

| | | (%) | | | | | DI |
|---------|---------------|-----|------|------|------|------|-------|
| | 期 | 良い | やや良 | 不変 | やや悪 | 悪い | |
| 全業種 | 1～3月 (実績) | 1.3 | 13.3 | 39.8 | 34.8 | 10.8 | -31.0 |
| | 4～6月 (見通し) | 1.9 | 16.7 | 47.7 | 28.2 | 5.8 | -15.4 |
| (製造業) | 1～3月 (実績) | 2.0 | 22.4 | 32.7 | 32.7 | 10.2 | -18.5 |
| | 4～6月 (見通し) | 4.2 | 16.7 | 45.7 | 29.2 | 4.2 | -12.5 |
| (建設業) | 1～3月 (実績) | 2.7 | 16.2 | 62.2 | 16.2 | 2.7 | 0.0 |
| | 4～6月 (見通し) | 2.8 | 19.4 | 50.0 | 25.0 | 2.8 | -5.6 |
| (卸・小売業) | 1～3月 (実績) | 0.0 | 5.6 | 33.3 | 45.8 | 15.3 | -55.5 |
| | 4～6月 (見通し) | 0.0 | 15.3 | 47.2 | 29.2 | 8.3 | -22.2 |

県内景況感(前年同期比)

(「上昇」企業比率 - 「下降」企業比率)



2. 業況について

(1) 売上高または出荷高

～実績は製造業のみ上向き、見通しは全業種で上向き予想～

[1～3月期の実績] 売上高・出荷高実績(前年同期比)をみると、全業種では「増加」と答えた企業が32.5%(前期32.1%)、「減少」が49.0%(同46.5%)となり、D Iは 16.5(同 14.4)と2.1ポイント低下した。

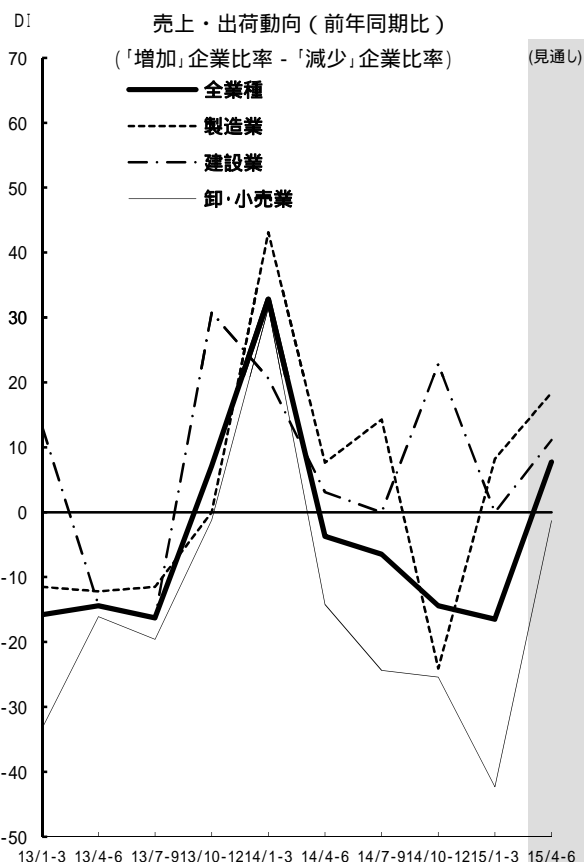
業種別にD Iをみると、製造業 8.2(前期 24.1)、建設業0.0(同22.8)、卸・小売業 42.3(同 25.4)となっており、製造業は上向き、建設業と卸・小売業は低下した。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し(前年同期比)をみると、全業種では「増加」とみる企業が33.8%、「減少」が26.1%であることから、D Iは7.7で1～3月期実績と比較して上向き見通しとなっている。

業種別にD Iをみると、製造業で18.4、建設業で11.1、卸・小売業で 1.3となっており全業種で上向き見通しである。

売上高または出荷高(前年同期比)

| | | D I (%) | | | | | D I |
|---------|-----------|---------|------|------|------|------|-------|
| | 期 | 増加 | やや増 | 不变 | やや減 | 減少 | |
| 全業種 | 1～3月(実績) | 8.9 | 23.6 | 18.5 | 35.0 | 14.0 | -16.5 |
| | 4～6月(見通し) | 5.1 | 28.7 | 40.1 | 19.1 | 7.0 | 7.7 |
| (製造業) | 1～3月(実績) | 14.3 | 32.7 | 14.2 | 30.6 | 8.2 | 8.2 |
| | 4～6月(見通し) | 2.0 | 34.7 | 45.0 | 16.3 | 2.0 | 18.4 |
| (建設業) | 1～3月(実績) | 8.1 | 27.0 | 29.8 | 27.0 | 8.1 | 0.0 |
| | 4～6月(見通し) | 8.3 | 30.6 | 33.3 | 22.2 | 5.6 | 11.1 |
| (卸・小売業) | 1～3月(実績) | 5.6 | 15.5 | 15.5 | 42.3 | 21.1 | -42.3 |
| | 4～6月(見通し) | 5.6 | 23.6 | 40.3 | 19.4 | 11.1 | -1.3 |



(2) 仕入高または生産高

～ 実績は製造業は上向き、卸・小売業は低下、
見通しは製造業、卸・小売業ともに上向き予想～

[1～3月期の実績] 仕入高・生産高実績（前年同期比）をみると、製造業（生産高）では「増加」と答えた企業が40.8%（前期26.4%）、「減少」が38.8%（同35.8%）であり、DIは2.0（同 9.4）と11.4ポイント上向いた。

卸・小売業（仕入高）では、「増加」と答えた企業は20.0%（前期29.1%）、「減少」が60.0%（同41.8%）で、DIは 40.0（同 12.7）と27.3ポイント低下した。

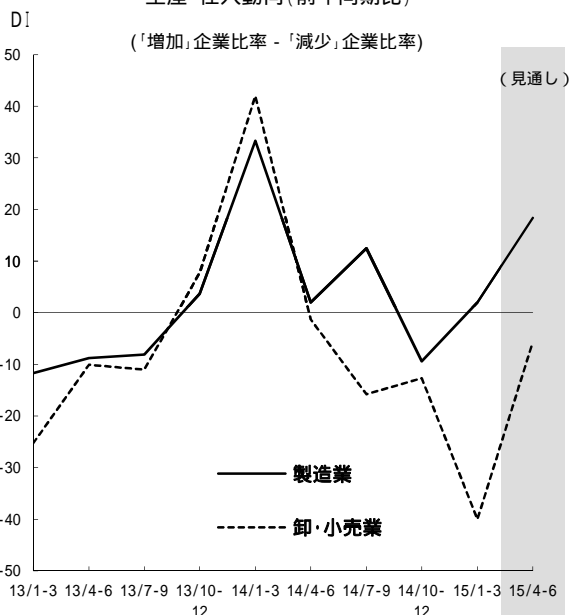
[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、製造業（生産高）については、「増加」と答えた企業が34.7%、「減少」が16.3%であることから、DIは18.4で、1～3月期実績と比較して16.4ポイント上向き見通しとなっている。

卸・小売業（仕入高）については、「増加」と答えた企業が24.3%、「減少」が30.0%であることから、DIは 5.7で、1～3月期実績と比較して34.3ポイント上昇する見通しとなっている。

生産高または仕入高(前年同期比)

| | | D I (%) | | | | | |
|---------|---------------|---------|------|------|------|------|-------|
| | 期 | 増加 | やや増 | 不変 | やや減 | 減少 | D I |
| (製造業) | 1～3月 (実績) | 12.2 | 28.6 | 20.4 | 34.7 | 4.1 | 2.0 |
| | 4～6月 (見通し) | 0.0 | 34.7 | 49.0 | 14.3 | 2.0 | 18.4 |
| (卸・小売業) | 1～3月 (実績) | 5.7 | 14.3 | 20.0 | 38.6 | 21.4 | -40.0 |
| | 4～6月 (見通し) | 4.3 | 20.0 | 45.7 | 18.6 | 11.4 | -5.7 |

生産・仕入動向(前年同期比)



(3) 在 庫

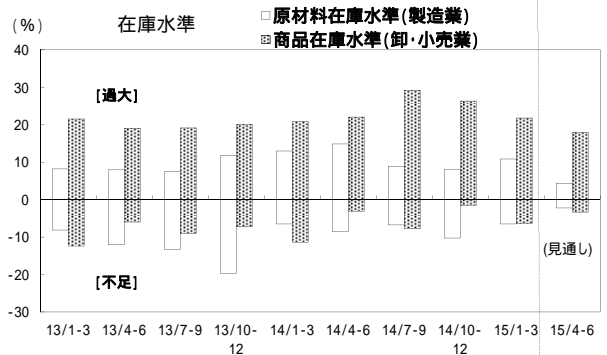
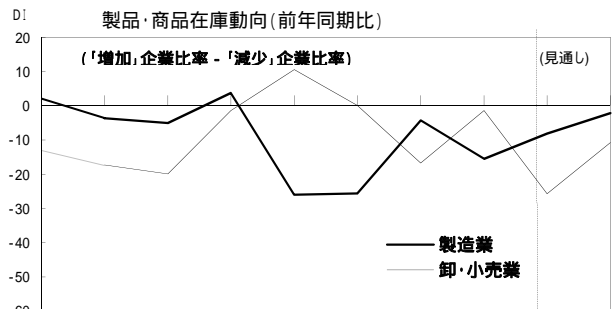
～ 在庫水準はほぼ適正に推移 ～

[1～3月期の実績] 在庫状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製品在庫が「増加」と答えた企業は24.5%（前期15.3%）、「減少」が32.6%（同30.8%）であることから、DIは 8.1（同 15.5）となった。また、製品在庫水準については、「過大」が16.3%（同13.2%）、「適正」が69.4%（同69.8%）、「不足」が14.3%（同17.0%）である。卸・小売業の商品在庫は、「増加」と答えた企業が9.1%（前期21.9%）、「減少」は34.8%（同23.3%）であることから、DIは 25.7（同 1.4）となった。また、商品の在庫水準については「過大」が21.9%（同26.4%）、「適正」が71.8%（同72.1%）、「不足」が6.3%（同1.5%）である。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製品在庫は、「増加」とみる企業が16.3%、「減少」が18.4%で、DIは 2.1となっている。また、同じく製品在庫水準については「過大」とみる企業が10.9%、「適正」が73.9%、「不足」が15.2%である。卸・小売業の商品在庫については、「増加」とみる企業が12.1%、「減少」が22.8%であることから、DIは 10.7となっている。また、同じく商品の在庫水準については「過大」とみる企業が18.0%、「適正」が78.7%、「不足」が3.3%である。

製品・商品在庫（前年同期比）

| | | （％） | | | | | | |
|---------|---------------|------|------|------|------|------|-------|--|
| | 期 | 増加 | やや増 | 不変 | やや減 | 減少 | DI | |
| （製造業） | 1～3月 （実績） | 10.2 | 14.3 | 42.9 | 30.6 | 2.0 | -8.1 | |
| | 4～6月 （見通し） | 0.0 | 16.3 | 65.3 | 14.3 | 4.1 | -2.1 | |
| （卸・小売業） | 1～3月 （実績） | 0.0 | 9.1 | 56.1 | 24.2 | 10.6 | -25.7 | |
| | 4～6月 （見通し） | 0.0 | 12.1 | 65.1 | 15.2 | 7.6 | -10.7 | |



(4) 収 益

～ 収益実績は製造業は上向き、建設業と卸・小売業は低下
見通しは製造業、卸・小売業が上向き予想～

[1～3月期の実績] 収益動向実績（前年同期比）をみると、全業種では「増加」と答えた企業が29.9%（前期32.7%）、「減少」が40.8%（同40.6%）であり、DIは 10.9（同 7.9）となり3ポイント低下した。

業種別にDIをみると、製造業4.1（前期 11.1）、建設業8.1（同17.1）、卸・小売業 31.0（同 18.3）と、製造業は上向き、建設業と卸・小売業は低下した。

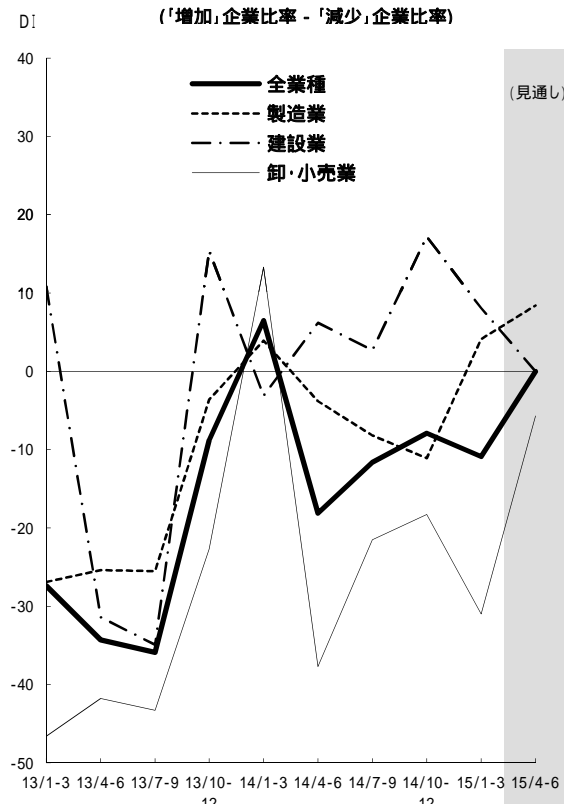
[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「増加」とみる企業が25.8%、「減少」とみる企業も25.8%であることから、DIは 0.0で、1～3月期実績と比較して上向き見通しである。

業種別にDIをみると、製造業8.4、建設業0.0、卸・小売業 5.7で、1～3月期実績と比較して、製造業と卸・小売業は上向き、建設業は低下する見通しである。

収 益(前年同期比)

| | | （％） | | | | | DI |
|---------|---------------|-----|------|------|------|------|-------|
| | 期 | 増加 | やや増 | 不変 | やや減 | 減少 | |
| 全業種 | 1～3月 (実績) | 5.1 | 24.8 | 29.3 | 27.4 | 13.4 | -10.9 |
| | 4～6月 (見通し) | 3.2 | 22.6 | 48.4 | 20.0 | 5.8 | 0.0 |
| （製造業） | 1～3月 (実績) | 8.2 | 30.6 | 26.5 | 26.5 | 8.2 | 4.1 |
| | 4～6月 (見通し) | 4.2 | 27.1 | 45.8 | 20.8 | 2.1 | 8.4 |
| （建設業） | 1～3月 (実績) | 2.7 | 29.7 | 43.3 | 16.2 | 8.1 | 8.1 |
| | 4～6月 (見通し) | 2.8 | 25.0 | 44.4 | 22.2 | 5.6 | 0.0 |
| （卸・小売業） | 1～3月 (実績) | 4.2 | 18.3 | 24.0 | 33.8 | 19.7 | -31.0 |
| | 4～6月 (見通し) | 2.8 | 18.3 | 52.1 | 18.3 | 8.5 | -5.7 |

収益動向(前年同期比)
('増加'企業比率 - '減少'企業比率)



(5) 販売価格・仕入価格

～ 販売価格、仕入価格とも上昇見通し ～

[1～3月期の実績] 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が28.9%（前期26.7%）、「低下」が15.4%（同17.2%）であることから、DIは13.5（同9.5）と上昇した。

仕入価格（前年同期比）は、全業種では「上昇」と答えた企業が46.8%（前期55.0%）「低下」が12.2%（同7.1%）であることから、DIは34.6（同47.9）と低下した。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が27.9%、「低下」とみる企業が9.0%であることから、DIは18.9で、上昇見通しである。

仕入価格については、「上昇」とみる企業が47.0%、「低下」とみる企業が9.9%であることからDIは37.1と上昇見通しである。

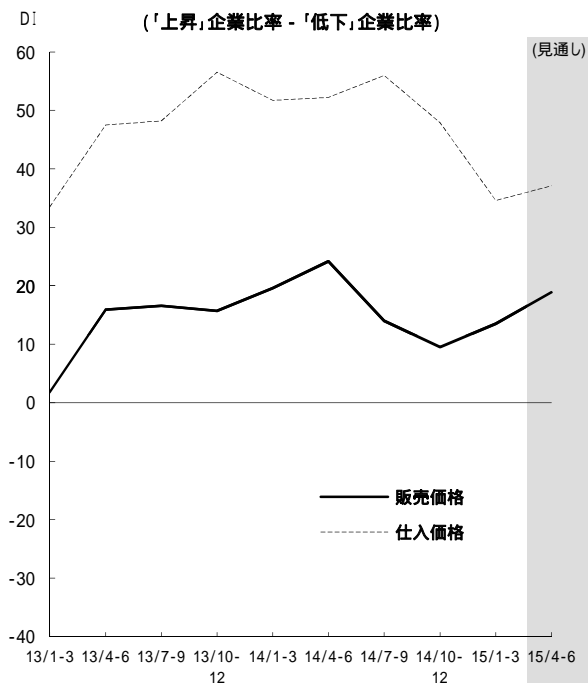
販売価格(前年同期比)

| | | （％） | | | | | DI |
|-----|---------------|-----|------|------|------|-----|------|
| | 期 | 上昇 | やや上 | 不変 | やや低 | 低下 | |
| 全業種 | 1～3月 (実績) | 1.3 | 27.6 | 55.7 | 10.9 | 4.5 | 13.5 |
| | 4～6月 (見通し) | 1.9 | 26.0 | 63.1 | 7.1 | 1.9 | 18.9 |

仕入価格(前年同期比)

| | | （％） | | | | | DI |
|-----|---------------|-----|------|------|-----|-----|------|
| | 期 | 上昇 | やや上 | 不変 | やや低 | 低下 | |
| 全業種 | 1～3月 (実績) | 7.1 | 39.7 | 41.0 | 9.0 | 3.2 | 34.6 |
| | 4～6月 (見通し) | 3.3 | 43.7 | 43.1 | 7.9 | 2.0 | 37.1 |

価格動向(前年同期比)
('上昇;企業比率 - '低下;企業比率)



3.設備投資の動向について

(1) 設備投資の実施状況

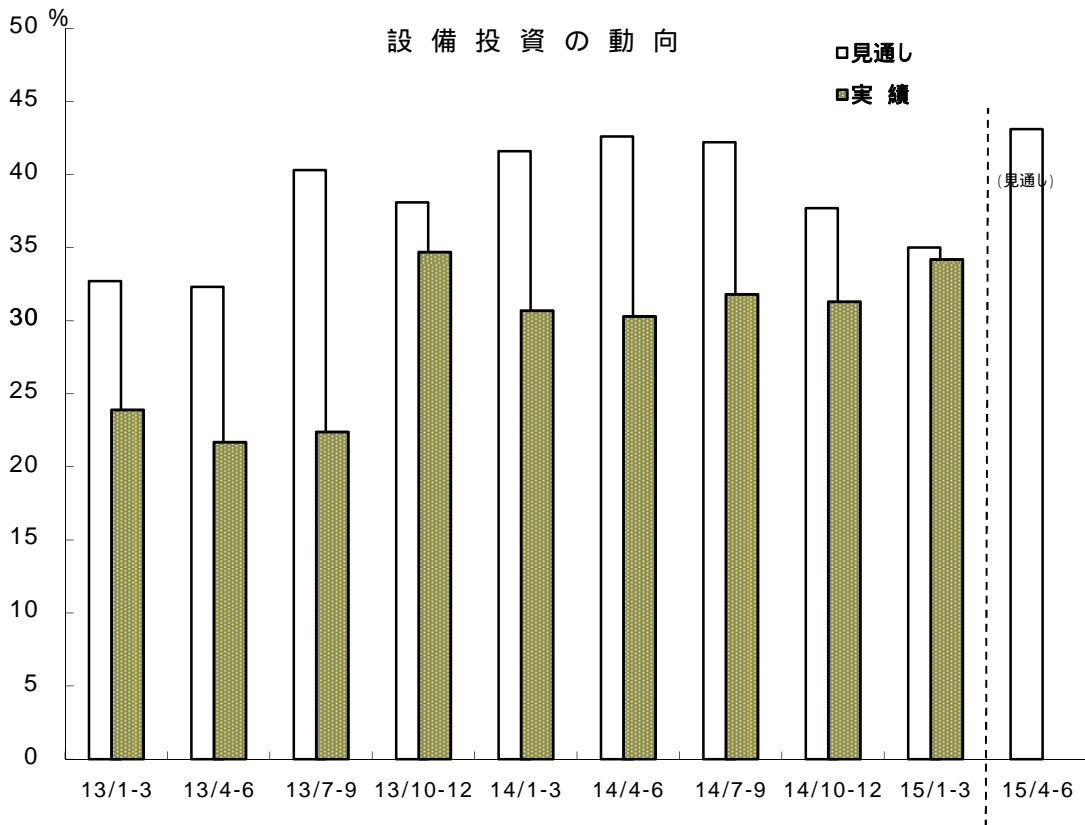
～ 実績は卸・小売業が増加 ～

[1～3月期の実績] 設備投資の実施状況を見ると、全業種では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は34.2%（前期31.3%）と前期比若干増加した。

これを業種別にみると、製造業27.7%（前期33.3%）、建設業38.9%（同25.7%）、卸・小売業36.2%（同32.5%）であり、建設業と卸・小売業が増加、製造業は減少した。

[4～6月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、全業種では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で21.2%（前期16.6%）、「計画はあるが具体化していない」は21.9%（同18.4%）、「計画はない」は56.9%（同65.0%）であった。「計画あり」は合計43.1%となっている。

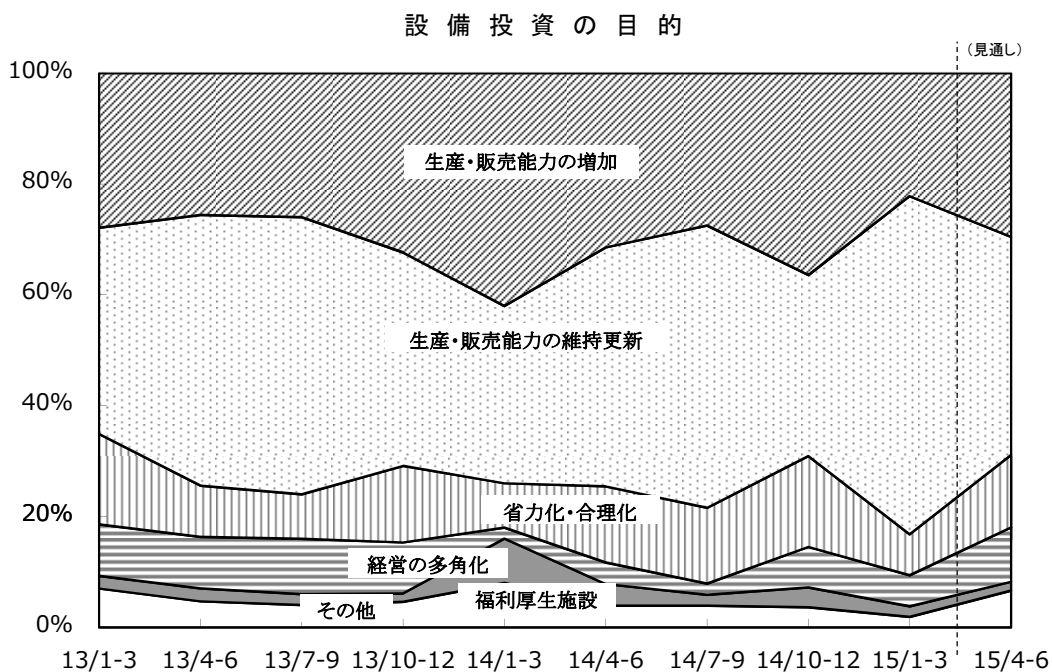
業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、製造業で56.3%（前期46.4%）、建設業で35.3%（同25.7%）、卸・小売業で37.7%（同32.4%）の見通しとなっている。



(2) 設備投資の目的

[1～3月期の実績] 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(31.6%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が61.1%（前期32.7%）でトップとなり「生産・販売能力の増加」が22.2%（同36.4%）で2位となった。業種別にみると、全業種で「生産・販売能力の維持更新」がトップであった。

[4～6月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(43.1%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が39.3%でトップとなり、以下、「生産・販売能力の増加」29.5%、「省力化・合理化」が13.1%で3位となっている。



4. 資金繰り状況について

(1) 資金繰り状況

～ 資金繰りの見通しは卸・小売業が上向き、製造業・建設業は低下予想～

[1～3月期の実績] 資金繰り状況（前期比）は、全業種では、「楽になった」とする企業が18.6%（前期19.1%）、「苦しくなった」が23.7%（同23.3%）であることから、D Iは△5.1（同△4.2）と上向いた。

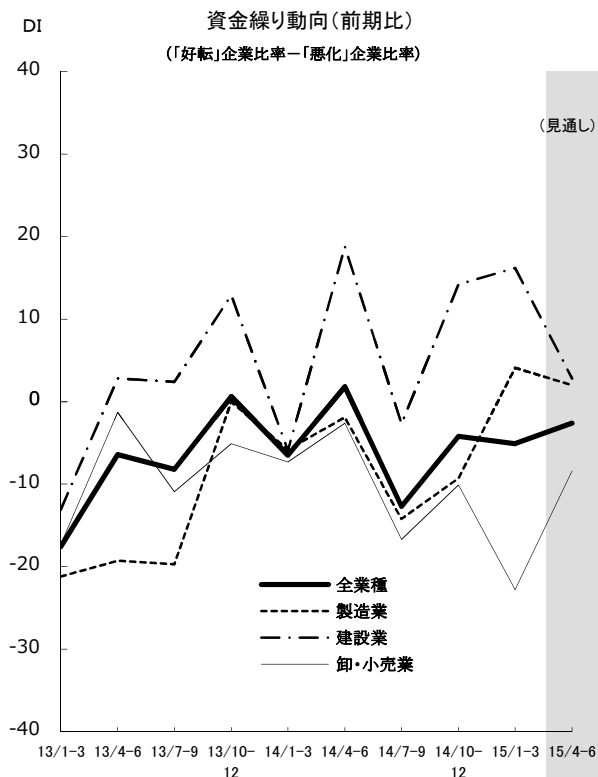
業種別にD Iをみると、製造業が4.1（前期△9.3）、建設業が16.2（同14.2）、卸・小売業は△22.8（同△10.1）と製造業と建設業が上向き、卸・小売業は低下した。

[4～6月期の見通し] 4～6月期の見通し（当期比）をみると、全業種では「楽になる」とみる企業が17.3%、「苦しくなる」が19.9%で、D Iは△2.6となり、1～3月期実績と比較して、上向き見通しとなっている。

業種別にD Iをみると、製造業2.0、建設業2.8、卸・小売業△8.4となっており、卸・小売業のみ上向き見通しとなっている。

資金繰り(前期比)

| | | (%) | | | | | D I |
|---------|---------------|-----|------|------|------|-----|-------|
| | 期 | 楽 | やや楽 | 不変 | やや苦 | 苦 | |
| 全業種 | 1～3月 (実績) | 5.1 | 13.5 | 57.7 | 19.2 | 4.5 | -5.1 |
| | 4～6月 (見通し) | 3.8 | 13.5 | 62.8 | 17.3 | 2.6 | -2.6 |
| (製造業) | 1～3月 (実績) | 6.1 | 16.3 | 59.3 | 16.3 | 2.0 | 4.1 |
| | 4～6月 (見通し) | 6.1 | 12.2 | 65.4 | 14.3 | 2.0 | 2.0 |
| (建設業) | 1～3月 (実績) | 5.4 | 21.6 | 62.2 | 8.1 | 2.7 | 16.2 |
| | 4～6月 (見通し) | 5.6 | 19.4 | 52.8 | 22.2 | 0.0 | 2.8 |
| (卸・小売業) | 1～3月 (実績) | 4.3 | 7.1 | 54.4 | 27.1 | 7.1 | -22.8 |
| | 4～6月 (見通し) | 1.4 | 11.3 | 66.2 | 16.9 | 4.2 | -8.4 |



(2) 現金・預金

[1～3月期の実績] 現金・預金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が19.1%（前期18.9%）、「減少した」が31.8%（前期も31.4%）であることからDIは△12.7（同△12.5）と横ばいに推移した。

[4～6月期の見通し] 4～6月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が15.7%、「減少する」が24.2%であることから、DIは△8.5と低下する見通しとなっている。

(3) 金融機関借入

[1～3月期の実績] 金融機関借入金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が22.2%（前期14.6%）、「減少した」が32.7%（同38.4%）であることから、DIは△10.5（同△23.8）と上昇した。

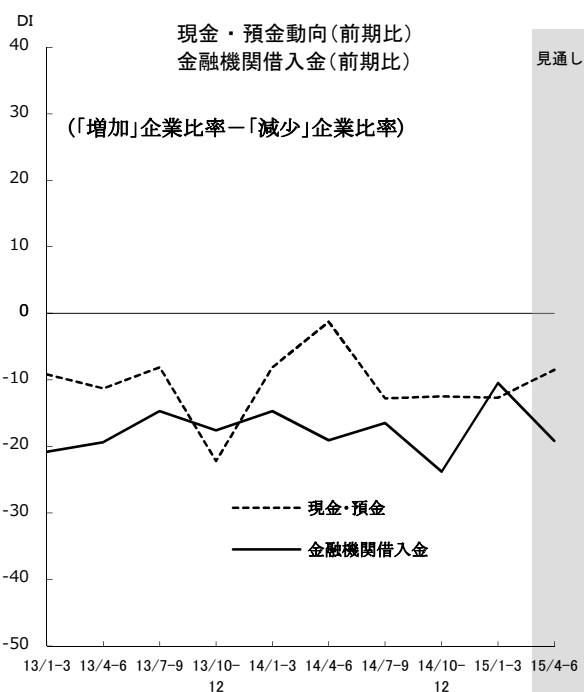
[4～6月期の見通し] 4～6月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が11.9%、「減少する」が31.1%であることから、DIは△19.2と低下する見通しとなっている。

現金・預金(前期比)

| | | (%) | | | | | |
|-----|---------------|-----|------|------|------|-----|-------|
| | 期 | 増加 | やや増 | 不変 | やや減 | 減少 | DI |
| 全業種 | 1～3月 (実績) | 4.5 | 14.6 | 49.1 | 24.8 | 7.0 | -12.7 |
| | 4～6月 (見通し) | 2.6 | 13.1 | 60.1 | 20.3 | 3.9 | -8.5 |

金融機関借入金(前期比)

| | | (%) | | | | | |
|-----|---------------|-----|------|------|------|-----|-------|
| | 期 | 増加 | やや増 | 不変 | やや減 | 減少 | DI |
| 全業種 | 1～3月 (実績) | 2.6 | 19.6 | 45.1 | 29.4 | 3.3 | -10.5 |
| | 4～6月 (見通し) | 2.6 | 9.3 | 57.0 | 28.5 | 2.6 | -19.2 |



(4) 販売代金回収期間

[1～3月期の実績] 販売代金回収期間（前期比）については、「短くなった」とする企業が3.2%（前期5.4%）、「長くなった」が7.8%（同4.8%）であることから、DIは△4.6（同0.6）となった。また89.0%（同89.8%）の企業は「変わらない」としている。

[4～6月期の見通し] 4～6月期の見通し（当期比）をみると、「短くなる」とみる企業が2.6%、「長くなる」が5.1%であることから、DIは△2.5となる。また、92.3%の企業は「変わらない」とみている。

(5) 仕入代金決済期間

[1～3月期の実績] 仕入代金決済期間（前期比）については、「長くなった」とする企業が1.9%（前期2.4%）、「短くなった」が3.9%（同4.2%）であることから、DIは△2.0（前期△1.8）となった。また、94.2%（前期93.4%）の企業は「変わらない」としている。

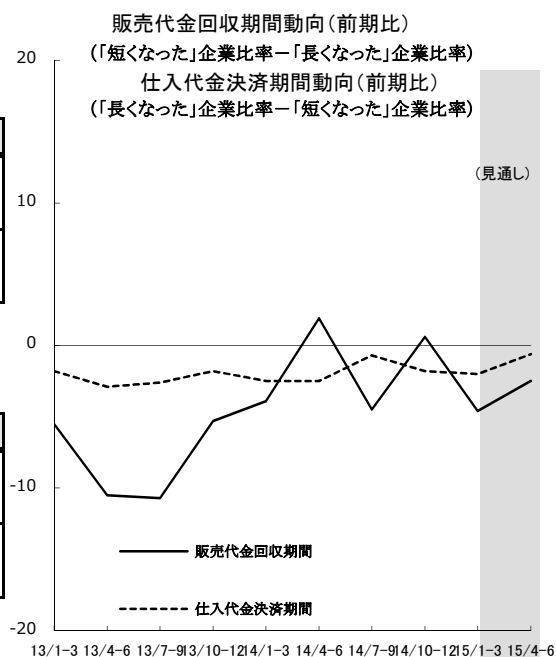
[4～6月期の見通し] 4～6月期の見通し（当期比）をみると、「長くなる」とみる企業が1.3%、「短くなる」が1.9%であることから、DIは△0.6となる。また、96.8%の企業は「変わらない」とみている。

販売代金回収期間(前期比)

| | | （％） | | | | | | |
|-----|---------------|-----|-----|------|-----|-----|------|--|
| | | 短く | やや短 | 不変 | やや長 | 長く | DI | |
| 全業種 | 1～3月 (実績) | 0.0 | 3.2 | 89.0 | 6.5 | 1.3 | -4.6 | |
| | 4～6月 (見通し) | 0.0 | 2.6 | 92.3 | 4.5 | 0.6 | -2.5 | |

仕入代金決済期間(前期比)

| | | （％） | | | | | | |
|-----|---------------|-----|-----|------|-----|-----|------|--|
| | | 長く | やや長 | 不変 | やや短 | 短く | DI | |
| 全業種 | 1～3月 (実績) | 0.0 | 1.9 | 94.2 | 2.6 | 1.3 | -2.0 | |
| | 4～6月 (見通し) | 0.0 | 1.3 | 96.8 | 1.3 | 0.6 | -0.6 | |



5. 経営上の問題点について

～ 経営上の問題は製造業は「原材料・仕入価格高」、建設業は「人手不足」、卸・小売業は「売上・受注不振」～

1～3月期における経営上の問題点をみると、全業種では「売上・受注不振」20.8%（前期21.4%）、「原材料・仕入価格高」17.3%（前期16.4%）、「人手不足」15.5%（同16.4%）となっている。

業種別に上位3項目をみると、製造業では「原材料・仕入価格高」が22.7%と1位、続いて「売上・受注不振」が19.3%が2位、「人手不足」が13.6%で3位となっている。

建設業では「人手不足」が25.8%で1位となり、「過当競争」が19.4%で2位、「売上・受注不振」と「原材料・仕入価格高」が14.5%で第3位となった。「人手不足」が8期連続でトップとなった。

卸・小売業では「売上・受注不振」が24.6%で1位、「収益不振」が16.2%、「原材料・仕入価格高」が13.0%となっている

経営上の問題点

(2項目以内複数回答可)

